

# ユニバーサルデザイン通信 Vol. 8



令和4年3月30日発行

## ユニバーサルデザイン(UD)の推進に向けて

ユニバーサルデザインは、障害の有無、年齢、性別、人種等に関わらず誰もが利用しやすいよう都市や生活環境をデザインする考え方です。

相模原市では、このユニバーサルデザインの考え方に基づいた「すべてのひとにやさしい都市・さがみはら」の実現に向けて、市職員一人ひとりがユニバーサルデザインの考え方を共有し、更には、市の施策や事業に具体的に取り入れていくためのガイドライン(相模原市ユニバーサルデザイン基本指針)を策定しています。

また、「ユニバーサルデザイン通信」では、ユニバーサルデザインに関する情報や、市の取り組み等について紹介しています。

## 着目

## 東京オリンピック・パラリンピックとユニバーサルデザイン

2021年に開催された東京オリンピック・パラリンピックでは、基本コンセプトの1つとして、「多様性と調和」が掲げられたほか、メインスタジアムとなった新国立競技場では「世界最高水準のユニバーサルデザイン」を基本理念に、様々な工夫が施されました。

### 基本コンセプトの1つ「多様性と調和」

- ・人種、肌の色、性別、宗教、政治、性的指向、言語、宗教、政治、障がいの有無など、あらゆる面での違いを肯定し、自然に受け入れ、互いに認め合うことで社会は進歩。
- ・東京2020大会を、世界中の人々が多様性と調和の重要性を改めて認識し、共生社会をはぐむ契機となるような大会とする。

### 新国立競技場のユニバーサルデザインの取り組み

- 例) ・すべての階に車椅子使用者と同伴者用の観覧席を設置
- ・オストメイト対応、男女共用、車椅子使用者用、小児用など様々な方が利用できるトイレの設置 など

## 相模原市での東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた取り組み(オリンピック・パラリンピック推進課)

### 令和2年度の取り組み

- ・市内小・中学校等におけるパラリンピック教育の実施
- ・職員がユニバーサルマナーを学ぶ研修の受講
- ・国際大会への参加に合わせ本市を訪れた選手等と市民との交流

ユニバーサルデザイン通信 vol.7にも掲載しています。ぜひご覧ください。

### 令和3年度の取り組み

#### 東京2020パラリンピック聖火フェスティバルへの参画

令和3年8月15日、パラリンピック聖火リレーに先立ち、様々な立場の市民の参加を得て、聖火の元となる火を採火し、横浜赤レンガ倉庫で行われる神奈川県集火・出立式に送り出す相模原市採火式を計画していました。当日は大雨による避難指示が発令され式典は中止となりましたが、担当職員が共生社会の実現を願いながら火打石で火を起し、障害者就労支援施設から調達したキャンドル及びさがみはら津久井材で作られたスウェーデントーチに点火した後、「相模原の火」として横浜へ送り出しました。



さがみはら津久井産材で作られたスウェーデントーチへの点火



市内の障害者就労支援施設に依頼し製作したキャンドル

#### ユニバーサルデザインの視点

- すべてのひとにやさしいまちづくりを進める - 心のバリアフリーの推進

## 性別によらず誰でも利用できる多目的トイレのサイン（清掃施設課）

これまで男女別にサインを掲示し、性別ごとに利用者が制限されていた多目的トイレの一部について、異性介助等に配慮し、性別によらず誰でも使用できるようにサインを変更しました。

場所：JR横浜線淵野辺駅北口公衆トイレ

### ユニバーサルデザインの視点

- すべての人にやさしい情報・サービスを提供する
  - 受け手に配慮した案内、サイン
- すべてのひとにやさしいまちづくりを進める
  - 心のバリアフリーの推進



～さらにやさしく～  
公共施設のトイレに、男女を問わず、おむつ台やベビーチェア等があれば、イクメンも安心してお出掛けができるかも！「子育て世代にもやさしいまちづくり」を目指しましょう。



## 動画による住宅用火災警報器の点検・交換の促進（予防課）

予防課では、住宅用火災警報器（略して「住警器」といいます。）の設置義務化から10年が経過していることから、住警器の点検・交換を促進するため、インターネットを通じた動画配信を予定しています。（令和4年4月15日より配信予定）

また、動画内に手話通訳映像を取り入れ、聴覚に障害のある方にもご覧いただきやすい動画を作成しています。



令和4年4月15日より、相模原チャンネル（YouTube）での動画の配信を予定しています。

広報さがみはら、市HP、区役所等デジタルサイネージ、図書館貸出カード裏面記載等でも紹介を予定しています。

手話通訳映像

### ユニバーサルデザインの視点

- すべてのひとにやさしい情報・サービスを提供する
  - 受け手に配慮した伝達手段

## ユニバーサルデザインをテーマとしたワークショップの開催（地域包括ケア推進課）

令和3年9月に、市役所のインターンシップの参加者を対象としたワークショップ(オンライン)を開催しました。

ワークショップでは、ユニバーサルデザインについて市の取り組み等を紹介するほか、市役所を例に「あったら便利だと思うバリアフリー設備、取組み」や、より多くの方がユニバーサルデザインを身近に感じられる「ユニバーサルデザインの情報発信」をテーマとしたワークを行いました。

### 参加者の皆さんからのアイディアの一例

#### テーマ1：市役所のバリアフリーを考える

あなたが「あったら便利だと思うバリアフリー設備、取組み」は？

- ・視力が低下した方、色覚異常のある方なども見やすい色のコントラストがついた階段
- ・閉鎖空間をなくすため、エレベーターにガラス窓をつける
- ・車いす利用者向けの記入台
- ・フロアごとの音声案内

#### テーマ2：ユニバーサルデザインの情報発信を考える

より多くの方がユニバーサルデザインを身近に感じられる情報発信とは？

- ・鉄道やバスの施設でユニバーサルデザイン化されている施設の紹介
- ・学校でユニバーサルデザインの授業を行い、その後は生徒たちが学校の校舎全体を使ってユニバーサルデザインである（でない）箇所を見つけるカリキュラム

### ユニバーサルデザインの視点

- すべてのひとにユニバーサルデザインの考え方を広める
  - ユニバーサルデザインを知る機会の充実

### ！ ユニバーサルデザインの視点

相模原市ユニバーサルデザイン基本指針における基本方針・取組の方向等から引用しています。

相模原市ユニバーサルデザイン基本指針や、これまで発行されたユニバーサルデザイン通信は、市ホームページからご覧いただけます。

< ユニバーサルデザインに関する市ホームページ >

<https://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/kurashi/fukushi/1017128/index.html>